

## 平成21年3月期 第1四半期決算短信

平成20年7月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 カラクミ観光株式会社  
 コード番号 9794 URL <http://www.karakami-kankou.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遊佐 弘隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部係長 (氏名) 町田 英則  
 四半期報告書提出予定日 平成20年8月14日

TEL 011-598-3225

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成21年3月期第1四半期の連結業績(平成20年4月1日～平成20年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年3月期第1四半期	5,121	—	△203	—	△321	—	△235	—
20年3月期第1四半期	5,337	1.6	△83	—	△194	—	△111	—

  

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年3月期第1四半期	△27.15	—
20年3月期第1四半期	△12.84	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
21年3月期第1四半期	50,163	—	12,341	—	24.1	1,398.61
20年3月期	51,027	—	12,819	—	24.6	1,452.09

(参考) 自己資本 21年3月期第1四半期 12,111百万円 20年3月期 12,574百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭				
20年3月期	—	0.00	—	25.00	25.00
21年3月期	—	—	—	—	—
21年3月期(予想)	—	0.00	—	25.00	25.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	12,400	—	860	—	600	—	350	—	40.42
通期	23,900	0.4	1,100	5.5	650	36.8	380	115.0	43.88

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

### 4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
 新規 — 社(社名) ) 除外 — 社(社名) )
- (2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無
- (3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの  
 ① 会計基準等の改正に伴う変更 有  
 ② ①以外の変更 無  
 (注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。
- (4) 発行済株式数(普通株式)  
 ① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年3月期第1四半期 8,670,080株 20年3月期 8,670,080株  
 ② 期末自己株式数 21年3月期第1四半期 10,918株 20年3月期 10,718株  
 ③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年3月期第1四半期 8,659,276株 20年3月期第1四半期 8,660,042株

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2ページ【定性的情報・財務諸表】 3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期の国内経済は、一部業種の企業業績が回復傾向を維持しつつも企業間、地域的なばらつきもみられ、全体的には原油や資材価格の高騰により景気動向は横ばい状態の展開が続いております。

このような中、当社グループの観光ビジネスの売上は第2四半期、第4四半期に偏り、第1四半期の売上高が増加しないという事業特性などにより一部地区のホテルを除いて全般的に売上が前年割れの業績となりました。ただその中で7月に洞爺湖サミットの開催を控え、6月以降洞爺地区と定山溪地区の3ホテルにおいてサミット警備関係者等の宿泊利用があり前年度より増えました。一方で阿寒、仙台、白浜地区においては、観光客の減少により、苦戦を強いられました。ビジネスホテルの売上は首都圏及び大阪とも営業活動を活発にした結果、売上は増加傾向で推移しました。受注は引き続き増加傾向で推移する予定であります。

第1四半期の業績については、観光ビジネスの事業特性などから上記の通りとなりましたが、第2四半期の業績については、学校、企業等の夏休みの時期等でもあり、日帰りの利用客も含めて宿泊者数の増加が見込まれること及びビジネスホテルが引き続き好調を持続することなどから、第1四半期に比べて大幅に増益となり、当初計画を達成する見込みであります。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における総資産は50,163百万円となり、前連結会計年度比863百万円の減少となりました。

その主な要因は大型の設備投資がなかったことにより、有形固定資産が前期末比416百万円の減少また投資有価証券が前期末比62百万円の減少となりました。流動及び固定負債は長期借入金等の返済により前期末比386百万円の減少となりました。

なお、純資産は配当金等の支払により前期末比477百万円減少となり、自己資本比率は24.1%と0.5ポイント減少しましたが、前連結会計年度とほぼ同水準を維持しております。

#### (キャッシュ・フローの状況)

当四半期における現金及び現金同等物の残高は3,783百万円となり、前連結会計年度末と比較して733百万円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は856百万円の支出となりました。

主な要因は、売上債権の増加額370百万円、仕入債務の減少が145百万円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は91百万円の収入となりました。

主な要因は、定期預金の払い戻し及び投資有価証券の売却による収入が177百万円によるものであります。マイナス要因としては有形・無形の固定資産取得の支出87百万円によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は31百万円の収入となりました。

主な要因は、短期及び長期の借入により1,200百万円を調達したことによるものであります。マイナス要因としては長期借入金及び社債の償還が943百万円、配当金の支払額216百万円によるものであります。

### 3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、概ね予定どおりに推移しており、平成20年5月14日付（平成20年3月期決算短信）にて公表いたしました業績予想に変更はありません。

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

1. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

2. 棚卸資産の評価基準及び評価方法

通常の販売目的で保有するたな卸資産については、従来、主として先入先出法による原価法によっておりましたが、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号 平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として先入先出法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）により算定しております。

3. リース取引に関する会計基準の適用

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準第13号（平成5年6月17日（企業会計審議会第一部会）、平成19年3月30日改正））及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第16号（平成6年1月18日（日本公認会計士協会 会計制度委員会）、平成19年3月30日改正））が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度に係る四半期連結財務諸表から適用することができることになったことに伴い、当第1四半期連結会計期間からこれらの会計基準等を適用し、通常の売買取引に係る会計処理によっております。また、所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。但し、リース取引開始日がリース会計基準適用初年度開始前の取引につき引き続き、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っております。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,832,959	4,666,251
売掛金	1,165,473	795,703
商品	108,581	124,267
原材料	59,578	57,334
貯蔵品	59,707	62,030
繰延税金資産	223,052	105,300
未収法人税等	58,088	74,510
その他	183,962	192,235
貸倒引当金	△3,092	△1,667
流動資産合計	5,688,311	6,075,967
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	72,310,085	72,302,522
減価償却累計額	△43,000,988	△42,561,868
建物及び構築物(純額)	29,309,097	29,740,654
機械装置及び運搬具	690,890	720,461
減価償却累計額	△633,191	△658,661
機械装置及び運搬具(純額)	57,699	61,800
土地	11,482,228	11,466,028
建設仮勘定	9,450	—
その他	4,390,549	4,363,473
減価償却累計額	△3,820,955	△3,788,122
その他(純額)	569,594	575,350
有形固定資産合計	41,428,069	41,843,833
無形固定資産		
のれん	639,807	649,170
その他	446,222	426,647
無形固定資産合計	1,086,030	1,075,817
投資その他の資産		
投資有価証券	1,622,502	1,684,651
繰延税金資産	42,361	31,594
破産更生債権等	4,764	4,764
その他	247,798	259,754
貸倒引当金	△29,994	△25,677
投資その他の資産合計	1,887,432	1,955,089
固定資産合計	44,401,531	44,874,741
繰延資産		
社債発行費	73,204	75,794
繰延資産合計	73,204	75,794
資産合計	50,163,047	51,026,503

(単位：千円)

当第1四半期連結会計期間末  
(平成20年6月30日)

前連結会計年度末に係る  
要約連結貸借対照表  
(平成20年3月31日)

負債の部		
流動負債		
買掛金	864,627	1,009,203
短期借入金	8,190,000	7,690,000
1年内償還予定の社債	505,000	505,000
1年内返済予定の長期借入金	3,994,722	3,911,196
未払金	1,463,377	1,769,221
未払法人税等	13,501	95,073
未払消費税等	104,744	154,361
繰延税金負債	103	236
役員賞与引当金	10,750	43,000
その他	393,343	415,409
流動負債合計	15,540,170	15,592,701
固定負債		
社債	4,510,500	4,560,500
長期借入金	16,335,590	16,611,625
繰延税金負債	585,922	585,733
退職給付引当金	435,180	441,705
負ののれん	59,562	60,947
長期預り保証金	354,425	354,125
その他	415	415
固定負債合計	22,281,595	22,615,051
負債合計	37,821,765	38,207,753
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,454,940	2,454,940
資本剰余金	2,182,984	2,182,984
利益剰余金	7,343,124	7,794,732
自己株式	△10,554	△10,374
株主資本合計	11,970,494	12,422,281
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	140,278	151,876
評価・換算差額等合計	140,278	151,876
少数株主持分	230,509	244,591
純資産合計	12,341,282	12,818,749
負債純資産合計	50,163,047	51,026,503

(2) 四半期連結損益計算書  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)
営業収益	5,120,817
営業費用	5,323,324
営業損失(△)	△202,507
営業外収益	
受取利息	197
受取配当金	21,008
受取地代家賃	25,114
負ののれん償却額	1,385
その他	20,187
営業外収益合計	67,893
営業外費用	
支払利息	174,323
社債発行費償却	2,590
その他	9,800
営業外費用合計	186,714
経常損失(△)	△321,328
特別利益	
投資有価証券売却益	35,965
その他	1,126
特別利益合計	37,091
特別損失	
固定資産除却損	4,090
投資有価証券売却損	1,464
たな卸資産評価損	25,006
その他	2,525
特別損失合計	33,086
税金等調整前四半期純損失(△)	△317,323
法人税、住民税及び事業税	27,282
過年度法人税等	15,452
法人税等調整額	△120,601
法人税等合計	△77,867
少数株主損失(△)	△4,332
四半期純損失(△)	△235,123

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間  
 (自 平成20年4月1日  
 至 平成20年6月30日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失(△)	△317,323
減価償却費	482,695
のれん償却額	7,977
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,742
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△6,525
賞与引当金の増減額(△は減少)	△106,768
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△32,250
受取利息及び受取配当金	△21,205
支払利息	174,323
社債発行費償却	2,590
投資有価証券売却損益(△は益)	△34,500
投資有価証券評価損益(△は益)	0
有形固定資産除却損	4,090
売上債権の増減額(△は増加)	△369,769
たな卸資産の増減額(△は増加)	15,764
仕入債務の増減額(△は減少)	△144,575
未払消費税等の増減額(△は減少)	△49,616
その他の資産・負債の増減額	△223,164
小計	△612,514
利息及び配当金の受取額	21,300
利息の支払額	△156,463
法人税等の支払額	△107,884
営業活動によるキャッシュ・フロー	△855,563
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	100,000
有形固定資産の取得による支出	△64,540
投資有価証券の売却による収入	77,191
貸付金の回収による収入	1,840
無形固定資産の取得による支出	△22,249
有形固定資産の除却による支出	△1,048
投資活動によるキャッシュ・フロー	91,193
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	500,000
長期借入れによる収入	700,000
長期借入金の返済による支出	△892,509
社債の償還による支出	△50,000
自己株式の取得による支出	△180
配当金の支払額	△216,484
少数株主への配当金の支払額	△9,750
財務活動によるキャッシュ・フロー	31,076
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△733,292
現金及び現金同等物の期首残高	4,516,251
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,782,959

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

	観光ホテル 事業 (千円)	ビジネスホ テル事業 (千円)	スポーツ施 設運営事業 (千円)	レストラン 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	4,073,520	972,814	49,317	25,164	5,120,817	—	5,120,817
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	8	140	5,130	—	5,279	(5,279)	—
計	4,073,528	972,955	54,447	25,164	5,126,096	(5,279)	5,120,817
営業利益又は営業損失	△401,182	189,185	△2,708	4,308	△210,397	7,890	△202,507

(注) 1. 事業区分の方法

事業区分は、内部管理（関係会社管理）上採用している区分によっております。

2. 各事業区分の運営会社

事業区分	運営会社
観光ホテル事業	当社、(株)東北カラカミ観光、(株)洞爺サンパレス、(株)古賀乃井、(株)ニュー阿寒ホテル、(株)洞爺パークホテル、(株)川久、(株)ホテルエメラルド、(株)マックスパート、(株)阿寒ビューホテル
ビジネスホテル事業	当社、(株)マックスパート、(株)川久
スポーツ施設運営事業	サンシャインビル(株)
レストラン事業	(株)羊ヶ丘展望園

b. 所在地別セグメント情報

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

当第1四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年6月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

「参考資料」

前四半期に係る財務諸表等

(1) (要約) 四半期連結損益計算書

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)

科目	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 営業収益	5,337,492
II 営業費用	5,420,358
営業損失	△82,866
III 営業外収益	71,878
1. 受取利息	114
2. 受取配当金	24,901
3. 受取地代家賃	30,934
4. 負ののれん償却額	1,385
5. その他	14,543
IV 営業外費用	182,643
1. 支払利息	174,587
2. その他	8,056
経常損失	△193,630
V 特別利益	21,223
1. 投資有価証券売却益	19,520
2. その他	1,703
VI 特別損失	3,075
1. 固定資産除却損	2,362
2. その他	713
税金等調整前四半期純損失	△175,483
税金費用	△60,812
少数株主利益	△3,512
四半期純損失	△111,157

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前第1四半期連結累計期間(自平成19年4月1日 至平成19年6月30日)

	前年同四半期 (平成20年3月期 第1四半期)
区分	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純損失	△175,483
減価償却費	513,144
賞与引当金の増減額(△は減少)	△103,286
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△32,250
受取利息及び受取配当金	△25,015
支払利息	174,587
売上債権の増減額(△は増加)	△191,495
たな卸資産の増減額(△は増加)	△3,207
仕入債務の増減額(△は減少)	△97,137
未払消費税等の増減額(△は減少)	13,021
その他	△164,873
小計	△91,996
利息及び配当金の受取額	25,018
利息の支払額	△165,504
法人税等の支払額	△312,150
営業活動によるキャッシュ・フロー	△544,633
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の払戻による収入	100,000
有形固定資産の取得による支出	△332,302
投資有価証券の売却による収入	38,541
その他	△1,865
投資活動によるキャッシュ・フロー	△195,626
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入れによる収入	900,000
長期借入れによる収入	500,000
長期借入金の返済による支出	△714,991
自己株式の取得による支出	△102
配当金の支払額	△216,501
少数株主への配当金の支払額	△10,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	458,404
IV 現金及び現金同等物の増加額(△は減少)	△281,855
V 現金及び現金同等物の期首残高	4,042,111
VI 現金及び現金同等物の期末残高	3,760,256

(3) セグメント情報

a. 事業の種類別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

	観光ホテル 事業 (千円)	ビジネスホ テル事業 (千円)	スポーツ施 設運営事業 (千円)	レストラン 事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全 社 (千円)	連結 (千円)
売上高	4,345,546	916,052	56,931	19,789	5,338,319	(827)	5,337,492
営業費用	4,634,975	707,014	62,679	19,565	5,424,234	(3,875)	5,420,358
営業利益	△289,428	209,038	△5,747	223	△85,914	3,048	△82,866

b. 所在地別セグメント情報

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

c. 海外売上高

前第1四半期連結累計期間（自平成19年4月1日 至平成19年6月30日）

海外売上高がないため、該当事項はありません。

## 6. 生産、受注及び販売の状況

当社グループは主としてホテル事業を営んでいるため、生産、受注及び販売の状況については、事業の種類別セグメントごとに、部門別の販売実績及び宿泊客数実績を記載しております。

### ① 販売実績

当第1四半期連結会計期間の営業収益を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称		当第1四半期連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
		金額(千円)	前年同期比(%)
観光ホテル 事業	定山溪ビューホテル	913,658	7.0
	洞爺サンパレス	623,249	△7.3
	ホテル瑞鳳	391,214	△8.9
	ニュー阿寒ホテル	314,100	△6.0
	洞爺パークホテル天翔	358,845	1.4
	秋保グランドホテル	317,640	△6.7
	ホテル川久	288,118	△19.2
	コガノイバイホテル	253,751	△19.4
	ホテル古賀の井	233,890	△12.2
	ホテルエメラルド	168,753	△8.9
	白浜シーサイドホテル	145,682	△10.1
	阿寒ビューホテル	64,125	△15.7
	本社	491	△5.8
	小計	4,073,520	△6.3
ビジネスホテル 事業	晴海グランドホテル	439,355	△4.4
	川崎グランドホテル	157,803	1.9
	ホテルコスモスクエア国際交流 センター	375,654	24.5
	小計	972,814	6.2
スポーツ施設 運営事業	サンシャインスポーツクラブ	49,317	△12.1
	小計	49,317	△12.1
レストラン 事業	羊ヶ丘展望園	25,164	27.2
	小計	25,164	27.2
合計		5,120,817	△4.1

(注) 1. 金額は販売価格によっており、セグメント間取引については相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

② 宿泊客数実績

当第1四半期連結会計期間の宿泊客数実績を事業の種類別セグメントごとに示すと、次のとおりであります。

事業の種類別セグメントの名称		当第1四半期連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	
		人数(人)	前年同期比(%)
観光ホテル 事業	定山溪ビューホテル	86,666	14.5
	洞爺サンパレス	60,705	△6.3
	ホテル瑞鳳	22,638	△5.1
	ニュー阿寒ホテル	33,908	△4.6
	洞爺パークホテル天翔	37,926	13.8
	秋保グランドホテル	24,883	△1.3
	ホテル川久	9,279	△18.0
	コガノイベイホテル	12,025	△18.0
	ホテル古賀の井	14,511	△10.8
	ホテルエメラルド	19,238	△6.9
	白浜シーサイドホテル	13,994	△7.0
	阿寒ビューホテル	9,773	△11.5
	小計	345,546	△0.5
ビジネスホテル 事業	晴海グランドホテル	27,330	△3.2
	川崎グランドホテル	8,327	0.1
	ホテルコスモスクエア国際交流 センター	29,996	29.1
	小計	65,653	9.8
合計		411,199	1.0